

第7回精和病院移転・統合検討委員会 議事概要

開催日時：令和8年3月2日（月）13時00分～15時00分

開催場所：沖縄県南部合同庁舎5階第1会議室

議事概要：

令和6年5月に策定した沖縄県立精和病院移転・統合基本計画については、その後実施した基礎調査の結果を踏まえ、一部見直しの検討を行うこととなった。

本委員会においては、新棟における病床数の検討、総合精神保健福祉センターとの一体化に向けたワーキンググループの検討状況などを報告した。

1. 新棟における病床数の検討について

移転・統合で求められる役割・医療機能、経営面などから総合的に検討した結果、120床を整備することに決定した。

また、以下のような意見等があった。

- 作業部会において、150床からのダウンサイジングが可能か検討してきた。ある程度の病床数を確保すべきとの意見も出されたが、看護師の人員体制などを踏まえると、120床の対応も厳しいため、まずは108床から開始し、120床まで増やしていく結論となった。
- 身体合併症の治療や児童思春期、依存症への対応など、期待される役割に応えるには150床でも需要はあるのではないかと。フロア数を減らすとしても、2フロア3病棟は必要である。病床数を減らした場合、患者の受け入れ制限が生じる懸念があるため、他委員のご意見を伺いたい。
- 全国的な精神科病床の減少が進む中、ダウンサイジングは必須であり、108床程度まで減らすことは評価できる。一方で、収支計画の実現性には疑問が残る。より重症な患者の受け入れを想定した場合、病床稼働率90%を維持するのは容易ではない。
- 民間病院では、継続的な運営が前提となるため、収支が赤字になる計画は想定されない。政策医療のみを行うわけではないため、黒字になるよう取り組むべきではないか。
- 統合のメリットは一般科と精神科が一緒に患者を診察できる点にある。一般科で対応した医師や研修医も回診で患者を診ることが重要である。

- 30床2病棟構成になっているのはなぜか。60床を1フロアとして、使い分けをするほうが、人員配置や経営面もよくなるのではないか。
- 看護師の配置を考えると30床2病棟よりは、60床1病棟がよいのではないか。北部病院では、身体症状を併発した精神患者の精神科単科病院で受け入れ困難なケースが課題となっている。新病院では、このような患者を積極的に受け入れられる体制を構築してほしい。
- 精和病院で診ている患者層を考慮すると、急性期以外の1病棟で、すべての精神一般患者を診ることは難しいため、3病棟は必要である。
- 身体合併症は、認知症や肺炎など様々な症状への対応が必要である。極端な例だけを想定するのではなく、幅を持たせて検討を進めてよいのではないか。南部医療センター・こども医療センターと統合することにより、対応は十分に可能である。
- 主治医については、クリアカットに分けることは難しい。一般科医師が主治医になる運用も問題がないため、これを続けてもよいと思う。経営面については、一般科と精神科の入院単価が異なるため、これらも考慮しながら検討したい。
- 病棟構成については、精和病院で診ている処遇困難患者などを民間病院が引き受けていただける場合、将来の見通しも変わるため、議論の余地があると考える。

2. 新棟の階構成について

意見等なし。

3. 精和病院と総合精神保健福祉センターの連携強化に向けた施設の一体化について

引き続き、ワーキンググループにおいて検討を進めることとなった。

また、以下のような意見等があった。

- 総合精神保健福祉センターは医師の人材確保に課題を抱えているが、病院と一体的に整備することで、よい連携が期待できる。
- 病院の建物内に審査機関があることで、独立性に懸念を示す方もいると聞いている。
- 一体化に伴うメリットは大きいと感じる。独立性については、同じ建物内で区別ができれば、問題ないと思う。
- 総合精神保健福祉センターでは所長の人材確保に苦慮しており、一体化による専門的な連携の強化は利点であると考える。ワーキンググループの中で挙げている課題を確認しながら検討を進めたい。今後は財政面でも調整が必要になるため、対応していきたい。

第 7 回 精和病院移転・統合検討委員会 名簿

氏 名	役 職	備 考
1 本竹 秀光	病院事業局 局長	委員長
2 佐々木 尚美	北部病院 院長	
3 天願 俊穂	中部病院 院長	
4 重盛 康司	南部医療センター・ こども医療センター 院長	
5 川満 博昭	宮古病院 院長	
(代理出席者) 与那覇 博隆	宮古病院 副院長	
6 田仲 斉	八重山病院 院長	
7 屋良 一夫	精和病院 院長	
8 系数 公	保健医療介護部 部長	
9 宮城 和一郎	病院事業局 病院事業統括監	
10 牧志 倫	総合精神保健福祉センター所長	
11 小渡 敬	沖縄県精神科病院協会 会長	
12 高江洲 義和	琉球大学大学院医学研究科 精神病態医学講座 教授	
13 福治 康秀	独立行政法人国立病院機構 琉球病院 院長	
14 平安 明	沖縄県医師会 副会長	
15 川田 聡	南部医療センター・ こども医療センター 精神科部長	